

校長室だより第40号（令和8年1月26日）

千葉市小学校球技大会の続き

12点あったリードは瞬く間に6点となりました。コートにいる子ども達は必死にボールに食らいつき、チャンスがあれば果敢にシュートを放つのですが、リングに嫌われてしまいます。そのルーズボールを桜木小に取られ、シュートを確実に決められてしまいます。さらに4点が追加されました。

12 対 10。とうとう 2 点差です。このまま逆転されてしまうのか。コートにいる子ども達もベンチにいる子ども達も、そして応援している私自身も弱気になった時、監督（指導している教諭）がタイムを取りました。

私は少し離れたところにいたのでアドバイスの内容はわかりませんが、このブレイクのおかげで子ども達は落ち着きを取り戻しました。

直後に第 4Q 初得点となるシュートが決まり、14 対 10。

最終的に、16 対 14 で、小倉小学校が 1 回戦を突破しました。子ども達から、喜びと安堵の声があがりました。

サッカーの1回戦は、小倉小学校 VS 若松小学校です。

校庭には、小倉小学校の全校児童が集合し大きな声援を送っています。会場校ならではの風景で、たくさんの応援を受けて試合に臨める子ども達は幸せです。（体育館は狭いので、関係者以外立ち入り禁止です。）

小倉小学校の選手はピッチを生き生きと走り、選手同士が声を掛け合い、連携してゴールを狙います。若松小学校もよく走り、決定機を作らせません。

押し気味に試合を進めているのですが、あと少しでゴールできず、歓声のため息に変わります。そんな時、ゴール右 45 度の角度からのボレーシュートがネットを揺らしました。

ゴォooooooooooooー！と叫びたくなるすばらしいシュートでした。

前半を1対0で折り返し、後半が始まりました。前半同様押し気味に試合を進めていましたが、こぼれ球を拾われ、シュートを決められてしまいました。その瞬間だけ、全員がエアポケットにいたかのように足が止まって見えました。

1対1。気を取り直して、攻め続けましたが、相手も必死です。そして試合終了を告げるホイッスルが鳴りました。同点のため、PK合戦となりましたが、小倉小学校の子ども達は落ち着いてゴールを決め、バスケットボール同様1回戦を突破しました。 つづく